



GLOBAL MIND



開智中学校・高等学校 国際交流委員会

【マレーシア学生との交流会】

12月21日（水）にマレーシアの中等教育学校 SMK Anderson から18人の中学生が来校し、交流を行いました。ほとんどの生徒にとって日本に来るのは初めてで、今回のプログラムをととても楽しみにしてくれていたようです。来校直後は少し緊張した様子でしたが、開智生と対面するとすぐに打ち解け、自己紹介から楽しそうに始めてくれました。



【異文化交流会・グループディスカッション】

5・6限は開智中学校を代表して3年3組の生徒との交流会です。マレーシアの生徒は伝統的な歌を、開智生は「よさこい」を披露しました。授業体験では、マレーシア生徒と本校生徒の混合チームに分かれて、さまざまな国に関するクイズを出題し、正解数を競いました。自国に関する問題でも知らないことがあったようで、クイズを楽しんでいました。正解するとハイタッチをし、喜びを分かち合いました。



【スポーツ交流】

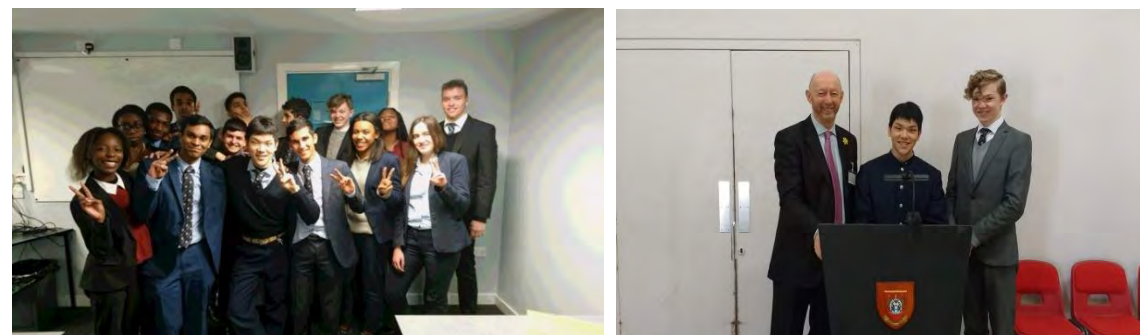
放課後はスポーツ交流としてバスケットボール部とサッカー部に参加しました。バスケットボールではマレーシアと日本の混合チームを作り、英語でコミュニケーションを取りながらパスを回してシュートを決めていました。サッカーでは日本 vs マレーシアの親善試合をし、とても競った試合になりました。スポーツを通して異文化交流ができたことは本当に素晴らしい経験でしたね。最後には皆で記念撮影です。



17時30分、いよいよお別れの時です。テニスコート前で大型バスが出発する時間には、交流を行った3年3組の生徒がたくさん見送りに来てくれました。”We hope to see you again!” 別れを惜しむ生徒たちが印象的でした。たった半日でしたが素晴らしい交流を行うことができましたね。3年3組の皆さん、中学バスケットボール部と中学サッカー部の皆さん、ありがとうございました。

【第3期 DGS 交流派遣プログラム 体験談】 代表派遣生徒 廣尾 衛 君

Dartford Grammar School と代表生徒を約1ヶ月間派遣し合うこのプログラムも今年で第3期となりました。今回は、つい2週間前に英国から帰国した5年2組 廣尾 君の体験談です。



何事にも代え難いすばらしい1ヶ月でした。Dartford Grammar School ではすぐに友達ができ、休憩時間に日本のことについてたくさんの質問をしてくれました。日本文化をイギリス文化と比較することで、客観的に日本を見ることができ、改めて母国である日本を深く知ることができました。ホストファミリーは私をいつもよくサポートしてくれて、週末はロンドン散策を一緒に楽しみました。

イギリスでの授業は日本とは異なって、コの字型に机を並べた教室でディスカッションが中心です。中でも英文学の授業では作者の意図について生徒同士の議論が白熱し、日本では経験することができないような授業を受けることができました。文学の解釈には英語だけでなく歴史的な背景知識も必要で、チャレンジの連続でしたが非常にやりがいを感じるものでした。



その他、日本語の授業では、アシスタントとして授業に入り、実際に日本語を教えることも経験させて頂きました。日本語だけでなく、その背景にある日本の文化や歴史も関連づけて説明したことはとても良い経験です。どの授業にも共通して言えることは、クラス全員が発言することに積極的で、自分の意見を持っているということです。皆が間違いを恐れずに発言できる雰囲気はとても新鮮で、居心地の良いものでした。

私は日本で英検準1級を習得し、ECS クラブでは英語ディベートに参加していましたが、英国に着いてすぐに自分の英語力の無さを痛感しました。特にリスニング力が足りないことで、授業中のディスカッションに参加する機会が減ってしまいました。将来、このプログラムや他の海外研修への参加を考えている皆さんは、まずはリスニング力を中心に英語力を高めるようにしてください。最後に、このプログラムに関わって頂いた全ての方々、素晴らしい機会を与えていただき、本当にありがとうございました。



廣尾君より生徒の皆さんへ

*“Some dream of success, while others stand up and work hard at it...
Now, DGS exchange program in 2017 is about to begin in your mind!”*